



晴れやかに、さわやかに、にこやかに、大人へ（成人式から）



12月定例会

地域主権改革14条例案を可決

平成23年度決算を認定

平成24年第4回定例会は、11月29日に開会し、27日間の会期で12月25日に閉会しました。初日の冒頭に、定例会直前に死去された故上田登前議長の追悼を行い、その後、議長選挙を経て、市田博新議長に決定しました。続いて、閉会中の継続審査となっていた23年度一般会計など9件の決算認定案をすべて認定しました。そして、市長から条例案や補正予算案など17件が提案され、市民から提出のあった請願2件と併せて常任委員会に付託し審査することになりました。最終日には、各常任委員会に付託していたすべての市長提出案を可決しました。また、2件の請願は、1件を不採択、もう1件を採択しました。そして、議員から提出された意見書2件を可決しました。同じく、議員提案の発議案2件を閉会中に審査することとし、常任委員会に付託しました。

新議長・議運委員長を選出

定例会初日の冒頭には、平成24年11月24日に逝去された故上田登前議長に対し、黙祷を行い、議員から追悼の辞、続いて市長から哀悼の辞が述べられました。そして、議長選挙を埋めるため、議長選挙を行い、その結果、市田博議員が新議長に当選しました。また、このことから議会運営委員長を選出することになり、互選の結果、櫻井立志議員に決定しました。

23年度決算すべて認定

次に、去る9月定例会最終日に提案され、決算特別委員会に付託し、閉会中に審査が終了している23年度の一般会計や特別会計など9件の決算認定案について、決算特別委員長から報告を受け、質疑の後、討論を行いました。

討論では、無党派議員から決算認定案第1号に、日本共産党京田辺市議会議員団から同第1号、同第3号、同第7号、同第8号に、それぞれ反対の討論があり、その後、

条例・予算等23議案を上程

次に、市長から「組織条例の一部改正」や地域主権改革に係る第1次及び第2次一括法に伴う国から地方自治体への権限移譲に係る条例制定など16件の条例案と1件のその他案が提案されました。また、市民から2件の請願が提出され、これら19件は、審査のため、所管する総務・文教福祉・建設経済それぞれの常任委員会に付託しました。

市長提出議案すべて可決

定例会最終日には、各常任委員会に付託していた議案の審査結果について、委員長から報告を受けました。続いて討論では、「組織条例の一部改正」に、そして、国からの権限移譲などに関連した「介護保険法に基づく指定地域密着型サービス・施設関連」の3件の条例制定及び、「市道に関する構造や標識の基準等」の2件の条例制定に対し、日本共産党京田辺市議会議員団から反対の討論がありました。採決の結果、市長提出議案をすべて原案のとおり可決しました。

請願2件は不採択と採択

定例会最終日には、「教育格差をなくし、子どもたちにゆきといた教育を求める請願」について文教福祉常任委員長から審査結果の報告を受け、日本共産党京田辺市議会議員団から賛成の討論があり、採決の結果、賛成少数で不採択としました。次に、総務常任委員会審査された「大飯原発の断層調査は稼働を一旦停止して行うことを求める意見書の提出を要望する請願」について、委員長の審査結果報告の後、一新会から反対討論が、民主党及び日本共産党京田辺市議会議員団から賛成の討論があり、採決の結果、賛成多数で採択しました。

請願採択受け意見書提出

(2面に掲載)

17議員が一般質問

2日目から4日目には、

紙面のご案内

- 2面 常任委員会の審査報告
新議長あいさつ等
- 3面 常任委員会の審査報告
一般質問
用語の解説、議会日誌
- 4面 一般質問
- 5面 一般質問
- 6面 一般質問
- 7面 一般質問
- 8面 決算特別委員会の審査報告
- 9面 決算特別委員会の審査報告
意見書、管外行政視察報告
- 10面 議決結果
シーズンスケッチ
3月定例会の予定
あとがき